

地震・津波・豪雨など近年多発する災害は、トイレ問題にも影響が及びます。

人間のもっとも基本的な営みである「うんこ」ができなければ、命にかかわる事態に陥ります。災害を生き抜き、安心して暮らせる環境を取り戻すために、「葉っぱのぐそ」を提案します。

「葉っぱのぐそ」は、自然界の一員として生態系の循環を理解し、命をつないでいく方法。自然界の分解者である菌類を長年にわたって観察し、撮影をしてきた伊沢正名さんに、「葉っぱのぐそ」を教わり、「うんこ」になって生きる考え方を学びます。

お尻で見る葉っぱ図鑑を使った
スライドトークと野外講座

葉っぱのぐそをはじめよう

今日から出来る糞だメンタルトレーニング



「糞土思想」が地球を救う
葉っぱのぐそをはじめよう (山と溪谷社)

糞土師 伊沢正名

1950年、茨城県生まれ。
中学、高校と進むうちにしだいに人間不信に陥り、高校中退。
1970年より自然保護運動を始め1975年から独学でキノコ写真家の道を歩む。
以後、キノコ、コケ、変形菌、カビなどを精力的に撮り続けてきた。
同時に1974年より信念を持ってノグソを始め、1990年には正しいノグソの仕方=伊沢流インド式ノグソ法を確立。
これまでにしたノグソは1万3700回を超え、21世紀に入ってからの16年間でトイレでしたウンコは舌癌治療で入院中の6回を含めて全部で9回。
2007~9年、「ノグソ跡掘り返し調査」を敢行しそれまで誰も見ようとしなかったウンコが土に還るまでの過程を生々しく記録した。

主な著書・共著本

- 『日本のきのこ』(山と溪谷社)
- 『きのこ博士入門』(全国農村教育協会)
- 『日本の野生植物 コケ』(平凡社)
- 『ときめくコケ図鑑』(山と溪谷社)
- 『日本変形菌類図鑑』(平凡社)
- 『変形菌ずかん』(平凡社)
- 『カビ図鑑』(全国農村教育協会)
- 『くう・ねる・のぐそ』(山と溪谷社)
- 『うんこはごちそう』(農山漁村文化協会)

※糞だメンタル=fundamental (根本的な、基本、原理)

fundamentalの前には、fundament (尻の穴)があり、fundamentalの次にfuneral (葬式、土葬)があり、その次にfungi (菌類)が続きます。お尻の穴から出る「うんこ」が、土に埋められると菌に託され、新たな命へと続くことが、辞典の中にしっかりと記されています。

スライドトーク

5月20日(土) 19時~21時

『「糞土思想」が地球を救う 葉っぱのぐそをはじめよう』(山と溪谷社)を使ったスライドトークと質疑応答。

野外講座

5月21日(日) 10時~12時

会場から近い山で、キノコ、菌の観察。
お尻ふき用という視点の葉っぱの観察。雨天時は室内。

料金:1400円(図鑑代)+カンパ

※図鑑をお持ちの方はご持参ください。
カンパは伊沢さんの交通費と活動費にあてます。
スライドトーク、野外講座のみの参加も可能です。

会場:上瀬戸さんあーる亭

(南房総市千倉町瀬戸1161、瀬戸交差点そば)

※駐車場は会場近くの駐車場、またはさんあーる
無人直売所広場(いっぽん山広場)をご利用下さい。

問い合わせ・申し込み:080-6689-4512(吉良)